

(別紙)

武蔵野市民文化会館改修工事 基本設計の概要について

工事費

(単位:千円)

改修項目		改修概要	改修案提示額 (税込)①	基本設計額 (税込)②	差額 ②-①	差額説明	
劣化改修	舞台特殊設備	舞台特殊設備(舞台機構・照明・音響)の劣化改修を行う。	1,142,500	1,043,900	▲ 98,600	舞台特殊設備の仕様の見直し及び見積りの取り直しを行った。また、劣化改修だが機能向上を伴う改修を「E 舞台特殊設備機能の見直し」の項目に変更した。	
	電気設備・機械設備	電気設備・機械設備の劣化改修を行う。 ★改修見送り項目(毎年の約1ヶ月間の休館期間にて順次対応)については、当初予定通り、改修は見送る。建築(屋上防水、外壁改修等)、地下多段式駐車場	989,400	818,100	▲ 171,300	当初は「W エネルギー利用の効率化」の対象設備が含まれていたが、Wに項目を変更した。また、改修履歴の見直し及び見積りの取り直しを行った。	
機能向上	A	大小ホール客席改修	座席幅の拡張による利用者の快適性向上と公演の採算性を考慮しながら、改修する。また、客席椅子等の改修により、残響時間が若干長くなる見込みである。	234,600	219,600	▲ 15,000	見積りの取り直しを行った。
	B	大小ホール間の防音対策	大小ホール間の防音対策を再検討したが、固体伝搬音のため防音壁の設置では防音対策にならないとの見解が示されたため、防音壁設置以外の舞台設備の位置等による防音対策を行う。	0	15,200	15,200	小ホールへの固体伝搬音の要因となっている大ホール舞台吊物機構の防音対策を行う。
	C	空調システムの見直し	大ホール等を除き、空調システムの個別空調化を行う。既存のガス式を継続して、災害時に供給が確実な中圧ガスを利用する。	168,100	300,300	132,200	個別空調エリアを追加(和室、茶室、ホール調整室関係等)し、また、楽屋は利用方法を踏まえて、冷暖房を同時に使用できる方式等に変更した。
	D	文化施設設備機能性 練習室・リハーサル室の防音対策	荷重の問題があり、防振ボックス工法の採用は困難という見解が示されたため、防音性能を向上させる代替策をとる。なお、リハーサル室は利用状況も考慮し、遮音扉の更新のみ行う。	113,300	50,400	▲ 62,900	練習室及びリハーサル室は、基本計画では防振ボックス工法を検討していたが、荷重の問題で見送りになり、工事範囲が縮小した。
	E	舞台特殊設備機能の見直し	舞台特殊設備(舞台機構・照明・音響)の機能向上を行う。	62,000	174,100	112,100	劣化改修だが機能向上を伴う改修を「A 舞台特殊設備」の項目に変更した。また、今後のLED化に向けた配線等の改修を行う。
	F	展示室の防音対策等	吊り材の防振対策、パネルの軽量化等の改修を行う。これらの対策により、低騒音化が見込まれる。また天井の高さを下げることにより、展示室等の展示作業時の安全性を高める。	121,400	88,300	▲ 33,100	当初は、防振遮音構造を検討したが、荷重の問題で見送り、工事範囲が縮小した。
	G	各所内装改修	床は全面改修、天井・壁は劣化状況、空調機の改修等を踏まえ改修を行う。	278,500	268,300	▲ 10,200	和室の内装改修の見送り及び事務室内装改修費用を「H 事務所機能の改修」の項目に変更した。
	H	事務所の改修	OA床化のほか利用者の事務所へのアクセスのしやすさ等を改善するため、改修する。	131,700	12,100	▲ 119,600	2階レストランと1階事務室の入れ替え中止により、工事範囲が縮小した。
	I	茶室の空調改修	空調設備は、開館から30年間改修をしていないため、内装等の改修を最小限に抑えて改修を行う。	0	5,100	5,100	露地(茶室前庭)部分の空調改修及びその改修に伴う天井の改修を行う。
	J	建具改修	大ホール音響調整室等の開閉窓の拡張、建具の調整等を行う。	22,600	44,400	21,800	正面エントランスのカーテンウォールに、飛散防止フィルムを貼ること及び見積りの取り直しを行った。
	K	安全性 大空間天井耐震性強化	大空間天井(正面エントランス、大小ホール)を、直天井等に更新する。 なお、大ホールの天井改修は、天井の形状を一部変更することにより、音響の改善(ホール客席への音の均一性の向上)が見込まれる。 小ホールの音響は評価が高いので、天井の形状は現状を維持し、同等の音響を維持する。正面エントランスのシャンデリアは、耐震性を維持する。	373,300	310,500	▲ 62,800	現地確認を踏まえた再検討により、正面エントランス天井の耐震天井仕様の見直しをした。
	L	エレベーター安全装置設置	法令の改正も踏まえ、改修する。	35,400	38,700	3,300	法令改正により、1号機(事務室前エレベーター)及び2号機(楽屋用エレベーター)の改修を行う。
	M	エレベーター遮煙装置設置	法令の改正も踏まえ、改修する。	11,400	5,900	▲ 5,500	1号機の遮煙装置の仕様の見直しを行った。
	N	防火シャッター挟まれ防止	防火シャッター挟まれ防止対策を行う。	4,000	6,900	2,900	防火シャッター改造による電気配線工事を追加した。
O	トイレの全面改修	トイレの増設、温便座の設置等により利便性を向上させるとともに、節水型便器、人感センサー付き照明等の設置により、ランニングコストの低減が見込まれる。原則、和便器は洋便器化するが、4階の和便器は残す予定である。	353,800	314,800	▲ 39,000	トイレ改修範囲の見直し及び手洗いの給湯設備の設置を中止した。	
P	利便性 大ホールエレベーターの設置 正面玄関エスカレーターの設置	大ホールホワイエ(2階)から4階へ移動するためのエレベーターを設置する。 正面玄関エスカレーターは構造上の課題を補強により解決し、設置する。なお、設置にあたっては正面玄関エントランスの景観面への配慮を行うとともに、エスカレーターの稼働音についての防音対策を図っていく。	97,100	158,800	61,700	正面玄関にエスカレーターを設置するために、構造補強の新設及びそれに伴う電気、機械設備の移設を行う。	
Q	バリアフリー	法令及び市バリアフリー基本構想の規定により、階段への手すりの設置・2段手すり化及び視覚障害者用ブロック改修等を実施する。	17,700	27,800	10,100	現地確認を踏まえた再検討により、手摺・注意喚起床材の仕様及び設置範囲の変更を行った。	
R	サイン改修	エレベーターの設置及びトイレの増設等を踏まえて、館内のサインを見直し、改修する。	17,700	16,800	▲ 900	大小ホール客席案内板及びトイレの改修に伴うサイン位置等の見直しを行った。	
S	湯沸かし器等改修	大ホール楽屋浴室・小ホール楽屋シャワー室にガス湯沸し器を設置する。	12,800	16,100	3,300	流し台、シャワー、浴槽の更新を追加した。	
T	駐車場改修	駐車場入口サインの改修及び大ホールエレベーター設置に伴う駐車場の減少に係る駐車番号の再整備等を行う。	4,000	6,500	2,500	搬入口更新を「D 練習室・リハーサル室の防音対策」の項目に変更した。	
U	公共性 照明改修	一般照明及び誘導灯については、LEDへ改修する。なお、舞台照明はLED技術向上の過渡期であり、オペラ等で要求される演出上の効果が十分でないことから、作業灯等の一部をLEDへ改修する。	100,500	76,300	▲ 24,200	誘導灯の更新を「劣化改修 建築・電気設備・機械設備」の項目に変更した。	
V	電気設備	現在、1階正面玄関受付で使用している手書きの掲示板は、電光掲示板に改修する。 また、館内の一部に設置されている防犯カメラは、利用者の安全・安心等のため、増設する。	87,400	51,900	▲ 35,500	太陽光パネルの設置を中止した。	
W	エネルギー利用の効率化	エネルギー利用の効率化のため太陽熱温水の利用等を行う。本施設は災害時に災害ボランティアセンターになることを踏まえ、一定の電力確保のため、コージェネレーションに停電時発電機能を付加する。また、避難所となる一中体育館へ電力融通を可能にする改修を行う。	180,700	342,900	162,200	当初は「劣化改修 建築・電気設備・機械設備」に対象設備が含まれていたが、項目を変更した。なお、停電時発電機能を省エネ効果等を踏まえ、70kwとする。	
X	耐震改修	新耐震基準に適合しているが、災害時等の役割を考慮して、耐震性をより強化する。	0	68,800	68,800	耐震補強工事・耐震補強に伴う仕上げ及び電気・機械設備工事を行う。	

委託費

Y	パイプオルガン養生	パイプオルガンの耐震補強に伴う養生を実施する。	2,000	2,000	0	
	Z	パイプオルガン耐震改修等	パイプオルガンの耐震補強等を実施する。	24,000	28,000	4,000
概算総事業費 計(消費税8%含む)			4,585,900	4,512,500	▲ 73,400	